



木場小だより

教育目標：豊かな心と確かな学力を備えた、
心身ともにたくましい児童の育成
www.3-net13.hakusan.ed.jp/kiba-e

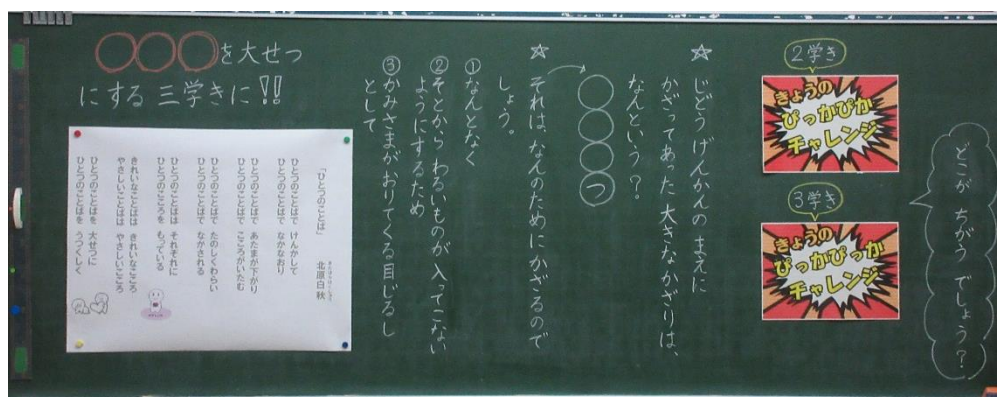


令和7年 1月 17日

小松市立木場小学校
校長 小山貴子

TEL：0761-44-2803
FAX：0761-44-5974
e-kiba@kec.hakusan.ed.jp

今年もよろしくお願いします

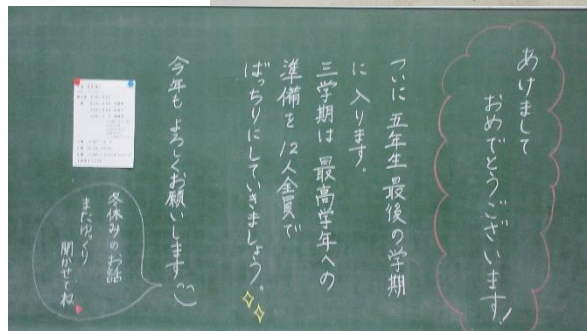


今年の元旦はとても穏やかで気持ちの良い日でした。始業式を行った8日の朝はうっすら雪が積もる道路を元気に登校してきた子ども達の姿に、当たり前のことが当たり前にできることのありがたさを感じています。

今年も児童玄関では、校務員と教頭による手作りの門松が子ども達を出迎えました。3学期は現在の学年のまとめをするとともに次の学年への準備をする学期です。

1年生には「ぴっかぴか」から「ぴっかぴっか」になろうとあります。素直で元気いっぱい1年生は、3学期には次年度入学する1年生を迎える集会を計画するなど、「お兄さん・お姉さん」になる準備をします。また、

5年生には「学校の最高学年への準備の学期」であるとの言葉がありました。全ての学年の黒板に書かれた担任からのメッセージは、子ども達の新たな挑戦を応援してくれていました。



生活目標「最後までがんばろう」



み：身近なことは自分で
ど：どんどん挑戦
し：しっかりやろう自分の仕事・役割
の話がありました。「みどし」の気持ちで学年の最後まで頑張りぬいてほしいです。

始業式では、3名が「3学期にがんばりたいこと」を発表しました。教室では全児童が教室で今年目標について話しました。

生徒指導の泉教諭からは生活目標について話がありました。そのあと「巳年」にちなんで



書き初めの会



1年生は「お正月におそうにをたべました。からだがぽかぽかしました。」2年生は「きれいなはつ日の出を見ました。新しい一年がはじまります」と鉛筆で書きました。3, 4年生は教室で、5, 6年生は体育館で筆を持ち「友だち」「明るいい心」「新しい風」「将来の夢」と書きました。二学期の練習の時と比べ、ずいぶん上達しており、お家でたくさん練習したことがうかがわれました。持ち帰った作品は、左義長で高く舞い上がったでしょうか。

古典芸能を学ぶ



16日、5年生が古典芸能の一つである落語について学びました。講師は図書ボランティアとして来てくださっている木原さんです。落語には「江戸落語」と「上方落語」があることや、「まくら」に始まり「落ち」がつく落語の構成について教わった後は、「まんじゅうこわい」の落語を聞きました。最後には扇子や手拭いを使った落語しぐさを教わりました。お話のところどころに「洒落」が入り、子ども達もクスッとなっていました。洒落の面白さが分かるのも古典芸能

の楽しみの一つです。木原さんといっしょに、そばやお茶をすするしぐさをしていましたが、子ども達もなかなかの芸達者でした。古典芸能と言っても能、狂言、人形浄瑠璃、歌舞伎・・・等様々ですが、今回のように実際に解説していただきながら聞いたり体験したりする機会をもてたことをありがとうございます。

